

中遠地域の農業・林業の話題をお届けします！



きらり中遠 ホットニュース

静岡県中遠農林事務所

令和4年10月31日 発行(第2号)

中遠農業青年塾を開催しています

(生産振興課)

中遠農林事務所では、新規就農者や農業後継者を対象に、目指す農業を考え自らの課題解決を促す「中遠農業青年塾」を開催しています。

今年度の受講生は11人で、8月から10月まで5回シリーズで進めてきました。

8月9日の第1回では、ふるさと支援研究所代表取締役の清水進矢氏から、事業計画作成の重要性を、KURI BERRY FARM代表の栗本めぐみ氏からは経営者としての心構えについて話していただきました。

8月29日の第2回では、株式会社パシオス代表取締役の上村光太郎氏から、「目標設定のファーストステップ」としてアドバイスを受けました。

10月6日の第4回にはKURI BERRY FARMのほ場を視察して、経営者としての工夫を実際に見て学びました。

そして、最終回となった10月20日の第5回では、これまでの講義を踏まえ、受講生から「自分の目指す農業」を発表し合いました。

どの回でも受講生から多くの質問が出され、有意義な講座となりました。

当所では、引き続き、新規就農者や研修生を支援していきます。



移住×就農ツアーが開催されました

(生産振興課)

8月4日から5日に、中遠管内にて移住×就農ツアーが開催され、静岡県への移住に関心のある県外者4組6人の参加がありました。

中遠農林事務所からは、新規就農を支援する県独自の事業「がんばる新農業人支援事業」を説明しました。

また、同事業にて就農した移住者2人から、ほ場



見学や座談会により、移住や就農の体験談を話していただきました。

参加者からは農業を選んだ理由や現在の生活状況などの質問がありました。

当所では今後も新規就農希望者の支援を行っていきます。

茶園集積推進事業の現地確認を行いました

(生産振興課)

9月14日に、菊川市の茶経営体で茶園集積推進事業の現地確認を行いました。

当経営体では、機械を積極的に導入し、茶価の低迷に負けないよう、条件の良い茶園を借り受けて、経営面積の拡大を計画しています。

今回事業を実施した経営体は、昨年まで管理していた担い手が高齢や健康上の理由で急遽離農することとなったことから、引き受けることとなりました。両者とも菊川市茶業振興計画の重要な担い手でした。

高齢・健康上の理由による離農は、これからどの地域でも件数が増えることが予想されます。

人・農地プランの地域計画作成では、このような離農を予測し、対処できるようにすることが求められています。



スマート農機実演会を開催しました

(生産振興課)

8月26日、御前崎市のファームタカハシのほ場で、みどりの食料システム戦略推進交付金を活用し、キャベツの生産拡大に向けたスマート農機の実演会を開催しました。当日は、近隣農家及び関係者31人が集まりました。

今回は、主に定植作業の省力化を図る農機として、ヤンマーによる①畝立て同時施肥機、②全自動定植機、③自走式散水機、④乗用型管理機（施肥中耕機）の説明と実演を行いました。

併せて、慣行作業との作業性の比較調査を行いました。

10月には、ドローンセンシング技術を活用したブームスプレーヤーによる薬剤散布の実演会も予定しています。



畝立て同時施肥機



実演会のようす

水田由来の温室効果ガス削減に向けて試験中です

(生産振興課)

温室効果ガスのメタンは、水田では夏季の湛水条件下でワラ等の有機物が分解する

ことにより発生しますが、秋冬期にワラをすき込むことで減少が見込まれます。

静岡県では今年度、「水田温室効果ガス削減対策事業」として県内4カ所で有機物の腐熟を促す試験を計画し、うち中遠農林管内では、袋井市の水田で実施しています。

10月11日に、稲刈り後の水田で、試験前の有機物含量を調査する土壌サンプルを採取しました。

10月24日には、本格的に試験を開始し、ドローンによる腐熟促進剤散布と秋耕を行いました。

また、現地試験と並行し、中遠稲作研究会を対象とした秋耕の取組状況についても調査をしていきます。



播種技術研修で、庁舎空き地を花畑に変えました (企画経営課)

中遠農林事務所が事務局を担当する「ふじのくに花の都しずおか中遠地域推進協議会」では、市町花の会等に対し、花壇づくりの技術支援を行っています。

6月28日に開催した播種技術研修会には、約50人が参加し、誰にでも簡単に楽しくできる、新しい種まき「たねダンゴ」づくりを学びました。

出来上がった「たねダンゴ」は、庁舎敷地内の空き地を使って植え付けを実習しました。植付け前は草むらだった実証ほ場は、8月には、色とりどりの花が揺れる花畑に変わりました。

実証結果は、中遠地域の花の都づくりに活かすとともに、当所ホームページでも紹介、花壇管理の省力化を求める団体等へ発信します。

(http://www.pref.shizuoka.jp/sangyou/sa-760/nougyou/tane_dango_kadan.html)



普及指導活動推進会議をペーパーレスで実施しました (企画経営課)

中遠農林事務所では、第2回普及指導活動推進会議（中間検討会）を9月26日、29日の2日に分け、経営支援関係及び普及指導活動計画について農業革新支援専門員を迎えて開催しました。

持続可能な社会に向け各自SDOパソコンを持参し、ペーパーレスで試行するとともに、従来の1日開催では検討時間が短くなりがちのため、会議時間は長めとし、議論を深めるよう改善しました。

当所では、効率的かつ円滑な会議の運営と適切な進捗管理を行うよう、取り組んでいきます。



掛川市農協茶生産委員会 製茶品評会が開催されました

(企画経営課)

8月9日にJA掛川市茶業研修センターにて掛川市農協茶生産委員会製茶品評会が開催されました。

JA掛川市管内の茶工場から一番茶初期の荒茶24の出品があり、経済連、掛川市内の茶商、JA掛川市、掛川市、茶業研究センター、中遠農林事務所の担当者が審査を行いました。

今年は気象の影響で香気や滋味がやや薄い傾向があったものの、全体として上位と下位の差は小さく、極端な欠点茶はほとんど見られませんでした。特に上位の数点は水色が濃厚でうま味が強く、生産者の栽培・製造技術の高さを感じさせるものでした。

審査の結果、最優秀賞には鈴木博之氏が選ばれました。

入賞茶については、3月上旬に開催される茶生産者の集いにおいて表彰される予定です。



中山間地域等直接支払制度の現地確認を行いました(地域振興課)

8月25日に森町で、9月5日に菊川市で、中山間地域等直接支払制度に係る実施状況の現地確認を行いました。

当日は、集落組織の代表者が立ち会い、市町及び中遠農林事務所が実施地区を歩き、農地等の管理状況等を確認しました。

森町集落組織からは、高齢化が進み農地を維持管理するのが難しくなっていること、カモシカの出没、シカやイノシシによる農作物への被害が伝えられました。

また、菊川市集落組織からは、棚田を保全する苦勞や企業との連携、都市住民との交流を兼ねた農作業体験イベントの取組についてお話を伺いました。

当所は、引き続き中山間地域等直接支払制度を実施する市町を支援し、農地が適切に維持管理されるよう働きかけます。



森町天方地区で棚田交流会を開催しました

(地域振興課)

8月20日、森町天方地区鍛冶島集落で、15人が参加し、森町ツーリズム研究会森町でつながる推進部会主催の第2回棚田交流会が開催されました。

棚田交流会には、集落に移住した3人と、町内に移住を検討している2組も出席して、6月に植えた水田の除草と、来年のブルーベリービールの原料となるブルーベリーの収穫を行いました。

新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、時間を短縮して午前中だけの開催となりましたが、お互いに情報交換し、有意義な時間を過ごすことができました。

中遠農林事務所では、部会活動を支援し、地域活性化に向けた取組を推進します。



「グリーン・ツーリズム中遠まるごとガイド」パンフレットを発行しました

(地域振興課)

静岡県グリーン・ツーリズム協会中遠支部は、会員施設を紹介するパンフレットを作成し、関係機関・施設へ配布しました。

パンフレットの表面は中遠地区のイラストマップをレイアウトし、裏面を中心に20か所の施設を紹介しています。

Webサイトのアドレス及びQRコードを掲載してあるので、スマホがあれば施設の詳細を確認出来ます。当パンフレットを参考に、中遠地区のグリーン・ツーリズムをお楽しみください。



袋井建設業協会では家畜防疫研修会が開催されました（家畜衛生課）

中遠農林事務所は、一般社団法人袋井建設業協会と「家畜伝染病発生時における緊急家畜処分業務に関する協定」を結んでおり、昨年12月の豚熱防疫対応で多大な御協力をいただきました。

8月30日、（一社）袋井建設業協会では家畜防疫研修会が開催され、当所から対象施設の概要、令和3年の防疫措置での課題と今後の対応等について説明しました。

また、防護服の着脱方法について実習を行い、手順の確認をしていただきました。参加者は装着時の不自由さを感じていました。

特定家畜伝染病発生時の埋却業務を円滑に実施するため、今後も研修会への参加や丁寧な打合せの実施をしていきます。



令和4年度 優良建設工事表彰式を開催しました

（検査）

中遠農林事務所が発注した建設工事を対象に、優秀な成績を修めた建設会社及び技術者を所長が表彰する「令和4年度静岡県中遠農林事務所優良建設工事表彰式」を9月8日に中遠総合庁舎で開催しました。

この表彰式は、建設技術の向上と適切な施工を推進し、併せて建設業の健全な育成・発展を図るために毎年行われており、当所は、昨年度完成した102件の工事の中から、優良工事部門2社、優良技術者部門3人、安全工事部門1社、地域貢献部門1社、ICT優良工事部門1社の計8件を表彰しました。



袋井建設業協会と災害協定実施訓練を行いました（農村整備課）

中遠農林事務所と、一般社団法人袋井建設業協会は、「災害時における応急対策業務に関する協定書」を締結しており、中遠農林事務所管内の山地災害、治山施設等の災害、農地農業用施設災害が発生した場合に、協定に基づいて協力事業者に応急対策や応急復旧工事を要請し、防災機能の確保・回復を図ることにしています。

7月27日に開催した実施訓練には、協力事業者24社48人が参加し、協定の内容や災害時の手続き、対象施設を把握すると共に、現地での訓練を行いました。参加者は、代表的な施設において、地震や暴風雨等によってどんな災害が予想されるか、被災範囲はどの程度になるか、災害が発生した場合にどのように復旧作業を行うかなどを検討し、確認しました。

有事に迅速な対応を図るため、中遠農林事務所は袋井建設業協会と情報共有を図り、管内の安全確保に務めていきます。



【ふじのくに美しく品格のある邑】

邑マルシェ開催！in ジェームス磐田店

(農村整備課)

7月23日にジェームス磐田店で開催された「邑マルシェ」に、ふじのくに美しく品格のある邑「岩田」と「とんぼの里岩井」が参加し、自慢の逸品を販売すると共に、活動のPRを行いました。

岩田地区で荒廃農地を解消し農産物栽培や植栽活動を行っている「岩田故郷の会」は、岩田産小麦粉やライ麦ストローを販売。自分達で栽培した藍を使った生葉染体験も実施しました。

また、岩井地区のお茶農家が経営するカフェ「角打ち茶屋」は、磐田産の抹茶を使った「お茶のかき氷」を販売し、いわた茶のPRを行いました。

当日は、磐田市のイメージキャラクター「しっぺい」も登場し、マルシェを盛り上げました。

今回は、ジェームス磐田店から「県内の農山村を支援したい」という申し出があり、スペースを提供して頂き、県西部地区では初の邑マルシェ開催につながりました。

中遠農林事務所では、今後も地域と連携し、邑の活動を支援していきます。



発 行：静岡県中遠農林事務所

〒438-8558 静岡県磐田市見付 3599 番 4 号 電話 0538-37-2272 (企画経営課)

E-Mail : nourin-chuen-kikaku@pref.shizuoka.lg.jp

U R L : <http://www.pref.shizuoka.jp/sangyou/sa-760/>